消費者行政に関する首長表明

●お問い合わせ　商工観光・自然環境課　☎76－3150

近年、消費者を取り巻く社会経済環境は大きく変化しています。新しい商品やサービスが登場し、私たちの生活は便利で豊かになる一方、インターネット通販を含む「通信販売トラブル」やＳＮＳやハガキによる「架空請求」、悪質な「訪問販売・訪問買取」、など巧妙化・複雑化した新たな手口による消費者問題が発生しています。

このような状況から、九重町では相談窓口を開設し、相談者救済に取り組んでまいりました。令和２年度の消費生活相談件数は120件となっており、相談者の年齢も若者から高齢者までと幅広くなっています。

今後も県や近隣自治体と協力し情報交換を行いながら、引き続き有資格者の配置に努め、消費者相談体制の充実を図ります。また、被害防止のために啓発活動を強化し、住民みなさまの安全な生活の確保と消費者力の向上に努めてまいります。

令和４年２月　　九重町長　日野　康志

（消費生活相談窓口）

あなたの地域に伺います！

今後も引き続き、要望に応じた各種団体での啓発活動の他、各地区への出張消費生活相談を行います。消費者被害の実態は多様化・複雑化しています。「自分は大丈夫だろう」ではなく、一人ひとりが少しでも多くの情報を取り入れ、周囲に注意喚起を行うことが消費者被害を未然に防ぐことにつながります。

民間賃貸住宅家賃補助の申請受付

●お問い合わせ　企画調整課　☎76－3807

九重町では、新たに賃貸住宅（空き家含む）で暮らし始めた方へ、家賃助成を行っています。

今年度第２回目の申請を受け付けますので、希望される方は必要書類を添えて申請してください。

●対象期間

令和３年10月分～令和４年３月分

●申請期間

３月１日（火）～３月31日（木）

※お早めに申請してください。

●申請要件等

詳細は、お問い合わせいただくか、「まちの事業紹介（p７）」または九重町ホームページをご確認ください。

▲まちの事業紹介

税務課からのお知らせ

●お問い合わせ　税務課　☎76-3803

農耕トラクター等の小型特殊自動車はナンバー登録が必要です！

農耕用で乗用装置があるトラクター等や、フォークリフト等の小型特殊自動車は、公道走行の有無に関わらず、所有していればナンバープレートの申請手続きが必要です。

軽自動車の廃車手続きは３月31日までに！

軽自動車税（種別割）は、毎年４月１日に登録があるものに課税されます。

所有しないバイクやトラクター、軽自動車等がある方については、３月31日までに廃車の手続きをしない場合、令和４年度も課税されますので早めの手続きをお願いします。

●手続き先

原付バイク（125 cc以下） 小型特殊自動車（トラクター等）	九重町役場　税務課
四輪の軽自動車（乗用・貨物用）	大分県軽自動車協会又は住所地の軽自動車協会
軽二輪（125 cc超 250 cc以下） 二輪の小型自動車（250 cc超）	大分県陸運局又は住所地の陸運支局、検査登録事務所

長野馬貞顕彰俳句大会が行われました　－特選に輝いた作品を紹介します－

●お問い合わせ　東飯田公民館　☎76－3116

今回で29回目の開催となる「長野馬貞顕彰俳句大会」は、町内小・中学生を対象に、かつて俳人として活躍した長野馬貞を顕彰し、開催しています。（主催：長野馬貞顕彰俳句大会実行委員会）

●今年度は小学生229名321句、中学生206名206句の応募をいただきました。どれも素晴らしい句ですが、次の５句を取り上げたいと思います。

「春風に　背中押されて　走る僕」

東飯田小　五年　伍藤　唯人

春風に押されて走るという表現がとても印象的です。これは何よりも唯人君が元気で学校が楽しいからでしょう。元気の出るよい句です。

「ひまわりが　えがおでさくよ　黄色だよ」

南山田小　二年　楳木　るな

ひまわりが笑顔にみえました。それも黄色の笑顔。よく観察しています。美しい風景がうかんできますね。

「いもうとが　せなかにのるよ　夏休み」

野矢小　四年　今村　光佑（こうすけ）

いもうとさんは、おにいちゃんが大好きだというのがよくわかります。仲の良い兄妹だなあと思わせる句です。

「バッタはね　草をわたって　行くんだよ」

飯田小　二年　武石　修依（しゅうい）

バッタはすごい距離をとびます。それを草をわたるとじょうずに表現しました。発見力のあるよい句です。

「タンポポの　飛ばない綿毛　あまえんぼ」

緑陽中　一年　佐藤　羽菜

タンポポの綿毛はやわらかくやさしいよね。それを見ながら飛ばないのは「あまえんぼ」といったのはとてもユニークです。

特選作品を紹介します

てっぺんに　はぐろとんぼが　いたんだよ　伍藤　聖菜（せな）
きょうそうだ　線香花火　パチパチと　松原　実虹（みこ）
力持ち　虫の王者だ　カブトムシ　清水　圭慈
砂時計　さらさら落ちる　夏の夕　小幡　翔一
土砂降りだ　蛙も急いで　雨宿り　宮﨑　勇人
冬の朝　みんなの靴が　並んでる　甲斐　幸音（ゆきね）
キンキンの　麦茶をゴクッと　ひと休み　河野　紗奈
いつか去る　年に一度の　暑い夏　内野　圭都
田舎道　ゆうがたしらせる　ひぐらしが　佐藤　天音
ひぐらしは　歌にみたてて　ないている　日野　光（ひかる）
えんてんか　アイスでえがお　きみのかお　佐藤　紫織
夏祭り　わたあめの雲　ふわふわだ　秋吉　陽葵（ひまり）
雪合戦　笑顔でほおも　手もまっ赤　岡本　新大（あらた）
彼岸花　川の向こうで　ほほえんで　佐藤よつ葉
風にゆれ　仲間と踊る　クローバー　有吉　優衣
太陽と　君の笑顔が　かさなるよ　岩尾　心花（こはな）
桜道　笑顔の君に　手を振った　乙津　美魅（みみ）
ひまわりが　咲いたらみんなで　背比べ　宿利　菫恋（すみれ）
紅葉狩り　君の笑顔も　あかあかと　由迫　峻
ひまわりよ　みんなの笑顔が　さきほこる　髙平　大地
虹かかり　君の心も　晴れてゆく　有吉　優翔（ゆうと）
夜を舞う　蛍が描いた　日記帳　佐藤　優菜（ゆうな）
雪合戦　あたってあてて　笑顔咲く　小野　美来（みらい）
雨上がり　とおくにつなぐ　虹の橋　坂本　彩夏
伝えてる　別れと出会いを　菜の花が　日野　晴菜

長野馬貞　（1671年～1750年）馬貞は、父から医術と俳諧の手ほどきを受けた。玖珠や日田俳壇で才能を伸ばし、はやくも９歳で「夜も明けば松茸採らぬ裏の山」と詠んでいる。36歳のとき、最初の撰集「俳諧七異跡集」を京都で発行した。飯田高原に伝わる朝日長者伝説や七不思議の説明文を全国の俳友に配り、それを基にした投句から秀句を選び、自身の句と合わせて撰集したもの。他にも引治に産出する木の葉の化石にちなんだ「紫石集」や「朝ひばり」・「山の湯紀行」・「祇園守」など、数集を編纂している。

「唐移す 滝の気色や 寒のうち」 馬貞（龍門の滝を背景にした龍門寺の境内にて）▶